

第 2 期芦屋町観光基本構想(素案)に対するパブリックコメントの結果について

1. 実施期間

令和 5 年 1 月 2 0 日 (金) ~ 2 月 2 0 日 (月) 3 2 日間

※町ホームページ及び広報あしや(2月号)で告知

役場産業観光課、総合案内、芦屋中央公民館、芦屋東公民館、山鹿公民館、町民会館、総合体育館で素案の配布

2. 意見提出者数

2 名 (4 件)

3. 提出方法

持参 0 名、ファックス 0 名、メール 2 名、郵送 0 名

4. 意見の概要と町の考え方

番号	意見の概要	町の考え方
1	<p>●持続可能な観光(観光 SDGs)の推進</p> <p>「日本ならではの観光資源を活用した持続可能な観光地域づくり」のイメージ図の中に「住民理解の確保」が組み込まれています。私も“観光立町”を目指す芦屋町にとって重要な課題だと認識しています。</p> <p>観光事業は、国内外の人々に“芦屋町のすべてを魅せる事業”だと考えています。よって、観光施設が立派でも、施設周りが綺麗でも、それだけでは失敗するでしょう。施設周り以外の場所に、カラスがつついたゴミが散乱していたり、犬の糞が転がっていたりしたらどうでしょうか?そんな観光地に人は二度と来ないでしょう。つまり、芦屋町全体の生活環境そのものが、観光事業の成・否の要と言っても過言ではないと思っています。であるとすれば、芦屋町内全域の“魅</p>	<p>第 2 期芦屋町観光基本構想を策定するにあたり、芦屋町住民参画まちづくり条例第 8 条に基づき、現地確認及び関係者の聴き取り調査の実施、ワークショップの活用、パブリックコメントの実施、附属機関等の設置を行い、2 以上の方法により住民の意見を求め検討を行いました。</p> <p>また、同基本構想の推進については、基本戦略 3「内と外の力を活かす」の基本戦略 3-①「町内関係者が協働する仕組みの構築」において、住民、事業者、各種団体及び行政等関係者をはじめとした会議の場で意見聴取を行うこととしておりますので、地域懇談会の開催は予定しておりません。</p>

	<p>せるための課題”等について、広域に、多くの町民意見を聴取することが重要だと考えます。</p> <p>そこで、この住民理解を深める（町民意見を聴取する）手法として、「地域懇談会の開催」を提案します。</p> <p>地域懇談会の開催は、「芦屋町住民参画まちづくり条例 第8条（住民参画の推進）」に記載されている10の住民参画手法の一つですが、他の手法に比べて広く、多くの町民意見を聴取できるとともに、より町民の理解を深めることができます。他の手法、特に今回のような構想や基本計画策定等でよく実施されているパブリックコメントに至っては、驚くことに令和3年度（5案件）の実績（意見）は「ゼロ」です。</p> <p>このような手法を工夫もせず使い続ける町に対しては、本当に町民の意見を聴く気があるのか？との疑問を抱いてしまいます。これ以外の手法も、聴取対象が限定的であったり、双方向の意見交換ができなかったり、観光事業の手法としては問題があると考えています。</p>	
2	<p>●基本戦略1－② 基本施策5 ①芦屋港レジャー港化</p> <p>芦屋港レジャー港化について、2月15日に「地域懇談会の開催」を求める請願書を町議会議長に提出しました。前述（番号1）の主旨をご理解いただき、ぜひ「地域懇談会の開催」をなるべく多くの地区で実現してください。</p> <p>芦屋港レジャー港化については、広報等で時々見る程度で詳細がどうなっているのかを知らない町民が多く、本計画の賛否に関係なく「地域懇談会の開催」を望む声を多く聞きます。今更・・・との声もありますが、計画は情勢の変化に応</p>	町政運営全般的なご意見として賜ります。

	<p>じて見直すことになっていきますので、私は with コロナを余儀なくされる今が、そのタイミングではないかと思っています。</p>	
3	<p>●基本戦略1－② 基本施策5 ①芦屋港レジャー港化</p> <p>「・・・芦屋港を芦屋町の海を活かした観光振興に有効活用・・・」との記述がありますが、堆積した砂の除去、荷揚げした砂の運搬、また、広大化した砂浜からの飛砂の対策等々、問題は山積していると思いますが、解決の見通しがついているのでしょうか？砂の運搬については、観光には不釣り合いなダンプカーが観光施設近くを走行することになるのででしょうか？</p> <p>このような問題を後送りにして進めても、成功するとは思えません。地域懇談会を開催し、これら問題への対応について説明する機会を持つことを提案します。</p> <p>その際に、福岡県との棲み分けがどうなっているのか、もご教示ください。</p> <p>芦屋港レジャー港化については、広報等で時々見る程度で詳細がどうなっているのかを知らない町民が多く、本計画の賛否に関係なく「地域懇談会の開催」を望む声を多く聞きます。今更・・・との声もありますが、計画は情勢の変化に応じて見直すことになっていきますので、私は with コロナを余儀なくされる今が、そのタイミングではないかと思っています。</p>	<p>町政運営全般的なご意見として賜ります。</p>

<p>4</p>	<p>●基本戦略1-② 基本施策5 ①芦屋港レジャー港化 実行は慎重になるべきと考えます。</p> <p>町の財政は耐えられるのでしょうか？ 新たな施設を作ると、将来、施設を維持するための財源が必要になります。既存の公共施設を維持していくにも財源が必要です。</p> <p>観光来訪者数は、既存の観光資源を十分活用することでも増やせるのではないのでしょうか？ 顧客層別、たとえばシニア向け、ファミリー向け、カップル向け、お一人様向けのPR動画「あしや町の楽しみ方」を制作して、観光情報サイトにアップしてみてもどうでしょう。役場の若い職員さんのセンスによる手作り感のある動画は、芦屋町の魅力を高めてくれると思います。大学の映画部とコラボしてもよいでしょう。</p> <p>ほかに優先すべき課題がありませんか？ 人口の社会減（人口の流出）を緩やかにすることは芦屋町が自治体として存続していくための重要な課題です。社会減を解消する目標年が5年後ろ倒し（2035→2040年）されたのは、とても残念です。</p> <p>私は、10年後、20年後に、芦屋町が、ある市の辺境の区になってしまうのではないかと案じています。そうなれば、今の役場はその市の本庁の出張所に成り下がります。職員さんは減らされます。市議会には議員を出せないかもしれません。衰退の過疎の町と化します。そんな芦屋町になって欲しくないのです。</p>	<p>町政運営全般的なご意見として賜ります。</p>
----------	---	----------------------------